



こほりしゅじとつすいかい
小堀流踏水会

概要

団体名	小堀流踏水会
代表者	古閑 忠夫
構成	66名
推薦団体	熊本市
主な活動地	熊本市

本賞

小堀流踏水会は、熊本県指定重要無形文化財に指定されている小堀流踏水術（昭和五十一年指定）の保持団体として保存・振興・後継者育成に努めている団体です。

小堀流踏水術は古流泳法の一つであり、熊本藩の武用水錬として熊本藩土村岡伊太夫によって編み出され、その子小堀長順によって完成された泳法です。泳法は立ち泳ぎを特徴とし、足撃そくげき・手繰游たくりおよぎ・立游たちおよぎ・御前游しげんおよぎ・拔手游ぬきておよぎ・浮游うきおよぎ・浮身うきみなどがあります。

同会が毎年八月に開催する先師祭や遠泳は熊本の夏の風物詩の一つとなっています。毎年、競技である日本泳法大会への出場、8月開催の夏季講習会、日本泳法研究会への参加など、技術の継続・普及に努められています。このように、同会は、「小堀流踏水術」の保存継承を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和五十年 小堀流踏水会設立

昭和五十六年 熊日賞受賞

平成八年 第二十五回熊本県文化財功労者

団体表彰

【年間活動内容】

・ 八月 夏期講習会

遠泳（大田尾～赤瀬）

先師祭

日本泳法大会

・ 十月～六月 シーズン外講習

・ 三月 日本泳法研究会